



国民の森林・国有林

中部森林管理局

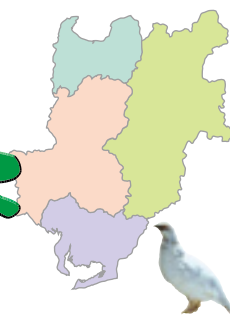
〒380-8575 長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



賀正



噴煙を上げる冬の浅間山

主 な 項 目	○ 城土局長年頭挨拶 P2
	○ 2009年 主な出来事 P4~5
	○ 風景紀行「白馬岳」 P6



新年を迎えて 国民視点での管理経営を目指して

中部森林管理局長 城土 裕

明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、特筆すべきは新聞報道等でご案内のとおり、八月末の衆議院選挙の結果による政権交代であると考えます。

平成五年に宮沢内閣から細川内閣へ政権が変わって以来十数年ぶりに民主党を中心とした政権交代が行われ、結果として国会運営、行財政運営に係る国のシステムが大幅に変更されており、例えば予算編成においては、財務省の予算査定に先立って内閣府の行政刷新会議における事業仕分けが行われ、公共事業予算をはじめとする各種事業の廃止や要求内容の見直しが提示されるなど例年とは大きく異なる作業となりました。

他方、昨年九月に国連の場で鳩山首相から二〇二〇年までに一九九〇年比で温室効果ガスを二五^{パーセント}削減する旨のご発言があり、ドイツ等を手本とし、積極的な林内路網の整備や高性能林業機械の導入等による低コスト高効率な作業システムを前提として、地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進等が求められています。

中部森林管理局は、長野・富山・岐阜・愛知県の四県に所在する国有林を管轄しており、「日本の屋根」といわれる日本アルプスをはじめとした、脊梁山脈を擁しています。

この地域は、信濃川、木曽三川などの源流地帯でもあり、水資源のかん養や国土自然環境の保全など、私たちの生命や暮らしに欠かすことのできない森林の多様な機能を発揮している地域であります。

す。また、木曽・東濃地方に代表される木曽ヒノキや人工林ヒノキ、更にはカラマツなどの産地として我が国有数の林業地帯ともなっております。

このような地域に所在する当局の立地条件を活かし、本年も森林・林業基本計画の理念に即して「木の交流」「水の交流」「人の交流」をキーワードとした国土の保全や水資源のかん養、地球温暖化防止のための森林吸収源対策の推進、森林での生物多様性の保全、間伐材等の有効活用などの具体的な取組を推進していくこととしています。

さて、私ども国有林野事業については、行政改革推進法等に基づき、一般会計化及び一部独立行政法人化について検討されてきたところですが、昨年十一月の国会における大臣発表によって、今後は全てを一般会計化する方向で早急に検討することとされております。

討することとされております。

まさに昭和二十二年の林政統一以来の大きな経営形態の変更となりますが、管内の国有林がなくなるわけではありません。国民共有の財産として適切に管理経営し、国民の皆様からの負託に適切に答えられるよう国民視点を持って職員一丸となって取り組む必要がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上、年頭にあたりまして、所感の一端を申し上げたところですが、本年が災害のない明るい職場であることを願うとともに、ご家族ともども職員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。



今年の干支は庚寅



今年の干支は「庚寅」の年です。

「庚寅」は「かのえとら」と読み、六十干支の二十七番目です。

庚は、十干の七番目「金の兄」で斧や刀などの硬い金属を象徴し、庚の字は「更」で草木の生長が行き詰まり、新たな形に変化しようとしている状態を表します。寅は、十二支の三番目で季節は旧暦の一月に当たり、動物の虎で動くを意味しており、植物が発生する状態を表しているそうです。庚と寅が相まって、従来の事象を改め新しい道筋を付ける年です。

庚寅の年といえば、古く六九〇年には「庚寅の年籍」が作られ、全国的な戸籍が編成され年齢別人口構成、家族形態などの具体的な内容が分かり、人頭課税の台帳に活用されました。

干支は六〇年で一回りし、前回の庚寅は一九五〇年（昭和二十五年）の出来事を見ると、「年のとなえ方に関する法律」施行により満年齢を用いるようになる、世界気象機関（WMO）発足、朝鮮戦争が六月に勃発、地方公務員法公布、放送法・電波法・電波監理委員会設置法の電波三法が公布、山本富士子が第一回ミス日本に選ばれる、日本シリーズでは、毎日オリオンズが優勝。今年、昭和二十五年生まれで還暦を迎える有名人は、志村けん、八代亜紀、ジュディ・オング、山本譲二、ばんばひろふみ、

館ひろし、和田アキ子、由美かおる、神田正輝、生島ヒロシ、綾小路きみまろ、鹿賀丈史：（敬称略）と大勢のおなじみの皆さん方です。

還暦の還は、「戻る」「帰る」を意味し、暦は「干支」を意味します。干支では六〇年で一巡して起算点となる年の干支に再びもどると還暦となります。自分の生まれた干支に戻ることから、「赤ちゃんに還る」という意味合いで「赤いちゃんちゃんこ」をお正月に、長生きを願って送る風習があります。

虎は、毛皮の美しい模様から前身は夜空にかがやく星と考えられており、決断力と才知があるといわれています。

平成二十二年は寅年、今年も良い年でありますように。



行事・会議等の予定

◎森林管理局事業担当課長会議

1月21～22日 林野庁

◎中部森林技術交流発表会

2月4～5日 長野市

◎事業担当部長会議

2月8～9日 林野庁

◎中日造林賞贈呈式

2月25日 名古屋市

シリーズ 現場最前線

御嶽山麓の

より良い山づくりを目指して

「岐阜署 合同森林事務所班」

合同森林事務所班の現場は、岐阜県下呂市の北部、御嶽山の頂上から麓までの一、四四二畝の国有林、官行造林地となっており、四つの森林事務所（小黒川、濁河、樺谷、大洞）が相互に連携して業務を調整しています。

当管内には、霊峰御嶽山の岐阜県側の登山路が整備されており、また、平成二十年八月には「岐阜県の宝物」第一号に認定された「小坂の滝めぐり」のフィールドになっていることから、春から秋にかけて、県内外からの多くの自然愛好者でにぎわっています。

班員は、基幹作業職員二名と臨時作業員数名と少数ですが、除伐、枝打、収穫調査、境界巡検、林道維持修繕作業、な



作業開始前のタッチ＆コール



大平展望台から見た御嶽山

どを実行しています。

冬山では雪の中、枝打ち作業に従事しており、「冬期特有の作業環境を自覚し、足元確認とスベルことを予期して災害の未然防止に努めよう」をスローガンに安全第一で作業に取り組んでいます。また当地域は、人々の心身のリフレッシュの場となっていることから、森林官の指示により、御嶽山のビュースポットとなっている「大平展望台」の修景作業や登山道の安全確保のための補修作業も行いながら、地域に開かれた国有林の利用にも努めています。現在、合同森林事務所のうち樺谷・大洞森林事務所の新築工事が行われており、本年四月からは、木の香り漂う新事務所を基点とし、今後ともチームワークを大切に一致団結して安全な作業に取り組んでいくこととしています。